



カーボンフットプリント(CFP)

CFP宣言

登録番号：JR-AR-24006C

SuMPO環境ラベルプログラム

一般社団法人サステナブル経営推進機構

東京都千代田区内神田1-14-8

KANDA SQUARE GATE

https://ecoleaf-label.jp

富士フィルム株式会社  
FUJIFILM Corporation

## Digital Thermal Plate

<現像工程あり／一部リサイクルアルミ使用> 欧州向け

## Digital Thermal Plate

<Processing required with the solution/  
Partly recycled aluminum used> For Europe

FUJIFILM  
SUPERIA  
Digital Thermal Plate



### 算定単位

平米(m<sup>2</sup>)あたり、代表厚み0.24mm

### 算定対象段階

■最終財 中間財

原材料調達段階、製造段階、輸送段階、  
使用段階、廃棄・リサイクル段階

### 製品の型式、主要仕様・諸元

型式：次頁参照

(代表品種：SUPERIA XP-F 等)

対象：平版印刷用PS版のうち、画像形成方法を  
「Thermal露光機を使用する製品群」で、  
現像処理工程を有する版

### 主な製品構成

支持体：アルミニウム新地金に再生地金約14.6%使用

厚みの範囲：0.15～0.40mm

感光層：支持体に負荷した全ての材料を機能性樹脂とする

個装包装：外箱、内包装材料合紙

現像処理：使用時の処理液使用あり、標準処理条件

### 登録番号

JR-AR-24006C

### 適用PCR番号

PA-937192-AR-05

### PCR名

平版印刷用PS版

### 公開日

2024年5月17日

### 検証合格日

2024年4月12日

### 検証方式

個品別検証方式

### 検証番号

JV-AR-24006

### 検証有効期間

2029年4月11日

### PCRレビューの実施

認定日等 2023年5月10日

委員長 神崎 昌之

一般社団法人サステナブル経営推進機構

### 第三者検証者\*

外部検証員 阿藤 崇浩

ISO/TS14067に従った本宣言及びデータの独立した検証

内部 外部

\*システム認証を受けた事業者内の検証の場合は、システム認証を行った審査員の名前を記載。

### 問い合わせ先

富士フィルム株式会社

■製品・環境に関するお問い合わせ

富士フィルム(株) グラフィックコミュニケーション事業部

TEL (03)6271-3961

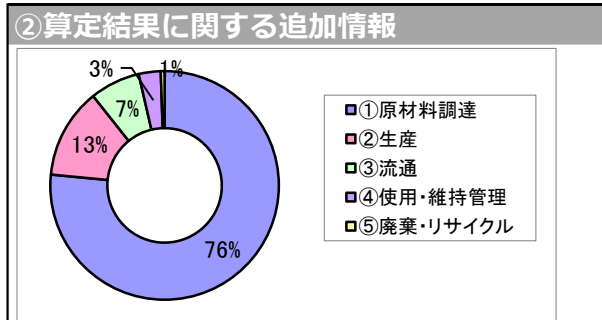
登録番号：JR-AR-24006C



①CFP算定結果		
算定単位 平米(m <sup>2</sup> )あたり、代表厚み		
項目	数値	単位
<b>CFP算定結果</b>		
	<b>9.6</b>	<b>kg-CO<sub>2</sub>eq</b>
内訳	①原材料調達	7.4 kg-CO <sub>2</sub> eq
	②生産	1.2 kg-CO <sub>2</sub> eq
	③流通	0.68 kg-CO <sub>2</sub> eq
	④使用・維持管理	0.30 kg-CO <sub>2</sub> eq
	⑤廃棄・リサイクル	0.05 kg-CO <sub>2</sub> eq
<b>数値表示</b>		<b>9.6 kg-CO<sub>2</sub>eq</b>
<b>表示単位：</b>		平米(m <sup>2</sup> )あたり、代表厚み0.24mm

※端数処理により、CFP算定結果と内訳の合計値は若干異なる場合があります。

③その他の環境関連情報	
ISO9001およびISO14001認証取得工場生産しています。	
-ISO 9001:2015/JIS Q 9001:2015 JMI-0129 JQA	
-ISO 14001:2015/JIS Q 14001:2015 JQA-E-80019 JQA	



CFP算定結果は、厚み0.24mmの場合です。厚み違いのCFP値は表1を参照して下さい。

表1

厚み (mm)	CO <sub>2</sub> eq (kg/m <sup>2</sup> )
0.15	6.7
0.20	8.3
0.24	9.6
0.30	11.6
0.40	14.8

※製品群：Digital Thermal Plate  
Digital Thermal Plateのカテゴリーに入る表2の製品は、製造工程はすべて同一方法によっています。また、プレートの使用工程における、赤外線レーザー露光も同一方法です。各製品の違いは、感光層のフェノール樹脂の構成成分のわずかな違い(割合)ですが、算出原単位としては、「フェノール樹脂」を用いるため(PCR参照)CFP値は同一となります。

表2

製品名
SUPERIA LH-PJ2
SUPERIA LH-PJA
SUPERIA LH-PK
SUPERIA LH-PL
SUPERIA XL-T
SUPERIA XP-L

④CFP算定結果の解釈	
●代表値 厚み0.24mm、平米(m <sup>2</sup> )あたりで、原材料に「再生アルミを14.6%使用」した時のCFP値です。	
●原材料段階のCO <sub>2</sub> eq排出量が、ライフサイクル全体の約76%と最も多い結果となりました。 これは、主原材料のアルミの生産に起因するため、再生アルミ利用によるCO <sub>2</sub> eq排出量削減が非常に重要な要素と言えます。*1 *1 再生アルミを使用したことで全量アルミ新地金(CFP値13kg-CO <sub>2</sub> eq/m <sup>2</sup> )を使う時に比べ約26%のCO <sub>2</sub> eq排出量の削減ができました。	
●なお、原材料の使用量と製品製造負荷は弊社データ、新地金アルミ製造時のデータはサプライヤーの一次データを使用していますが、その他は一般的な値を利用しているため、この結果は概算値としてご理解ください。	

⑤使用した二次データの考え方	
IDEA ver.3.1.0を使用した。	

⑥備考	
-	

- データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。
- 比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。  
(参照先URL：<https://ecoleaf-label.jp/regulation/>)
- 製品の提供により生じる気候変動以外のその他の潜在的な社会的／経済的／環境的影響の評価は行っていません。